

科目名		栄養教育論Ⅱ	教員名	伊部 陽子	学科等	保健栄養	必修	履修年次	2
(科目番号)		(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
					授業形態	講義	オフィスアワー	D307研究室	
授業概要		栄養教育論Ⅰで学習した行動科学の理論とモデル、行動変容技法、栄養カウンセリングを基礎に、栄養教育マネジメントを学習する。また多様な場(保育園・こども園・幼稚園、小・中・高等学校、大学、地域・職域、高齢者福祉施設・在宅介護)におけるライフステージ別(乳児期、幼児期、学童期、思春期、青年期、妊娠・授乳期、成人期、高齢期)の栄養教育の展開について学習する。							
目的・目標		目的: 栄養教育マネジメント、ライフステージ別の栄養教育の特徴と展開を理解し、様々な対象における新規の栄養教育プログラム作成と実施方法を習得する。 目標: 栄養教育マネジメントを理解する。ライフステージ毎の特徴、健康状態、食物摂取の課題を理解する。対象に適したアセスメント内容、目標設定、教材・媒体、学習形態を理解する。行動科学理論とモデルおよび行動変容技法に基づき、多様な場での栄養教育プログラム作成と実施方法を理解する。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	栄養教育マネジメント (1)		到達目標: 栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 栄養教育のためのアセスメントの種類を学習する。					
	2	栄養教育マネジメント (2)		到達目標: 栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 栄養教育のためのアセスメントの方法を学習する。					
	3	栄養教育マネジメント (3)		到達目標: 栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 栄養教育の課題抽出を学習する。					
	4	栄養教育マネジメント (4)		到達目標: 栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 栄養教育の優先課題の特定と目標設定の方法を学習する。					
	5	栄養教育マネジメント (5)		到達目標: 栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 栄養教育計画立案に必要な学習形態の決定について学習する。					
	6	栄養教育マネジメント (6)		到達目標: 栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 栄養教育計画立案に必要な教材の選択と作成について学習する。					
	7	多様な場におけるライフステージ別の栄養教育の展開 (1)		到達目標: 妊娠・授乳期の栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 妊娠・授乳期の栄養教育の特徴と理論や技法を応用した栄養教育の展開を学習する(地域における栄養教育の展開)。					
	8	多様な場におけるライフステージ別の栄養教育の展開 (2)		到達目標: 乳児期の栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 乳児期の栄養教育の特徴と理論や技法を応用した栄養教育の展開を学習する(地域における栄養教育の展開)。					
	9	多様な場におけるライフステージ別の栄養教育の展開 (3)		到達目標: 幼児期の栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 幼児期の栄養教育の特徴と理論や技法を応用した栄養教育の展開を学習する(保育園・認定こども園・幼稚園における栄養教育の展開)。					
	10	多様な場におけるライフステージ別の栄養教育の展開 (4)		到達目標: 学童期の栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 学童期の栄養教育の特徴と理論や技法を応用した栄養教育の展開を学習する(小学校における栄養教育の展開)。					
	11	多様な場におけるライフステージ別の栄養教育の展開 (5)		到達目標: 思春期の栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 思春期の栄養教育の特徴と理論や技法を応用した栄養教育の展開を学習する(中・高等学校における栄養教育の展開)。					
	12	多様な場におけるライフステージ別の栄養教育の展開 (6)		到達目標: 青年期の栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 青年期の栄養教育の特徴と理論や技法を応用した栄養教育の展開を学習する(大学や職域における栄養教育の展開)。					
	13	多様な場におけるライフステージ別の栄養教育の展開 (7)		到達目標: 成人期の栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 成人期の栄養教育の特徴と理論や技法を応用した栄養教育の展開を学習する(職域における栄養教育の展開)。					
	14	多様な場におけるライフステージ別の栄養教育の展開 (8)		到達目標: 高齢期の栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 高齢期の栄養教育の特徴と理論や技法を応用した栄養教育の展開を学習する(地域や高齢者福祉施設・在宅介護の場における栄養教育の展開)。					
	15	多様な場におけるライフステージ別の栄養教育の展開 (9)		到達目標: 傷病者の栄養教育プログラム作成を理解する。 学習内容: 傷病者の栄養教育の特徴と理論や技法を応用した栄養教育の展開を学習する(栄養と環境に配慮した栄養教育の展開)。					
成績評価の方法・基準		課題と小テスト(40%)、期末試験(60%)を総合して評価する(対面・オンライン共通)。							
教科書		栄養教育論Ⅰと同様の教科書を使用							
参考図書		授業時間内に適宜指示する							
教員からのメッセージ		昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。課題はコメント等を付して授業内で返却します。 また、オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。 受講生の理解度に応じて、学習内容の配分、順番を変更することがあります。変更する場合は、授業内または掲示でお知らせします。							